



公益社団法人秋田県看護協会
保健師 職 能 通 信

R 2 (R 3. 2月発行)
発行：秋田県看護協会
保健師職能委員会

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な行事が延期や開催方法の変更、中止となりました。「新しい生活様式」も当たり前の生活のようになってきましたが、どの職種も業務の増大で心身ともに疲弊するような緊迫した日々が続いています。一日も早くこの事態が終息することを願うとともに、保健師としての誇りと使命感を持ち続けながら今後も生き生きと活動できることを願い、様々な分野で活躍されている皆様へ保健師職能通信をお届けします。

【令和2年度 研修会・交流会】

開催日	内 容
10月23日 (金)	◆三職能合同交流会 テーマ：地域包括ケア時代 集まれ！つながろう！ 「いのち・暮らし・尊厳を支える」看護職の輪 基調講演：テーマ「地域包括ケアシステムに向けた看看連携」 講 師：公益社団法人 日本看護協会 副会長 齋藤 訓子 氏
11月20日 (金)	◆複雑多重課題を抱える事例検討会 基調講演：「複雑多重課題を抱える人々への支援について ～援助者がつぶれないために～」 講 師：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 看護学講座 精神保健看護学分野 教授 米山 奈奈子 氏
12月17日 (木)	◆保健師職能集会 テーマ：「保健事業と介護予防の一体的な実施事業の実施に向けて ～事業概要と実施自治体の事例紹介～」 事業説明：『保健事業と介護予防の一体的な実施の「制度と事業の概要」と「実際の取組』 講 師：秋田県後期高齢者医療広域連合 業務課 事業企画班 主査 伊藤 朋幸 氏



10/23 (金) 三職能合同交流会
参加者 54名

地域包括ケアシステムにおいて、医療と生活の視点を併せ持つ看護職が横につながりながら専門性を発揮していくために、看看連携がどうあるべきか、秋田県の現状と課題を知り、望ましい連携について意見交換を行いました。保健師の立場からは、仙北市民福祉部包括支援センター主任保健師 若松 香奈子さんにシンポジストとして報告していただきました。

【受講者アンケートより】

- ・看看連携、顔の見える連携が必要だと思うが、遠方との連携は難しい。三職能の交流会を利用して参加者同士で情報交換していくことが大切だと思う。
- ・多職種の連携を密にすること。情報交換を行い、互いに支えていくことが大事。
- ・連携の必要性を改めて感じた。看看連携の強みが分かった。将来の統計などを見据えて今取り組むこと、対応することが大切で、そこには職種のネットワークづくりが大切だと思った。

複雑かつ多重課題を抱える人々に対する支援や体制づくりを再確認するとともに、事例を通して参加者相互で支援を検討することにより、問題解決能力や実践力を醸成することを目的に行いました。事例は、男鹿市(母子)、横手市(8050問題)、由利本荘保健所(精神)から提供していただきました。



11/20 (金) 参加者 20 名
複雑かつ多重課題を抱える事例検討会

【受講者アンケートより】

- ・相手の言動にある「背景」を考えることを大切にしたい。
- ・自分が抱えている事例の支援にもヒントになった。
- ・支援者が疲弊しないためにも、一人で抱え込まないで共有して解決策を探していきたい。
- ・事例検討を通し、課題が複雑な事例ほど情報を整理したいと思った。
- ・多重課題を抱える事例で、悩んだり落ち込むことがあったが、自分の感情も自覚して大切にすることで肩の力が抜けた気がした。



12/17 (木) 保健師職能集会
参加者 15 名

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の推進にあたり、事業概要の再確認と具体的な事業の取組、庁内連携の在り方について学びました。さらに、先進的に取り組んでいる事例を通して、ゆずり葉の会、大館市、男鹿市より情報提供していただき、事業の実施や推進に繋がる手だてを学びました。

【受講者アンケートより】

- ・事業だけに目を向けるだけではなく「住民・人」を見ることの大切さに改めて気づかされた。
- ・庁内連携ができないと、この事業は推進されないという思いを強くした。
- ・事業は「手段」。一番大事なことは「何のために、何をどう実施する?」。事業ばかりにとらわれると本末転倒になりかねない、事業で分断されないよう話し合い・連携を充分にとって実施することを願う。
- ・”一体化”という言葉にあまりとらわれず、保健師は住民一人一人の健康づくりに責任を持って当たっていくという意識が重要。

あなたの力を看護協会へ



一人一人の力は小さいけれど
力を合わせれば大きな力になります。
看護協会にぜひご加入ください。

入会を希望する方は、次にアクセスしてください。

- ①職場内の連絡委員長へ
- ②公益社団法人秋田県看護協会のホームページ
<http://www.akita-kango.or.jp> の入会案内へ
- ③秋田県看護協会
会員管理担当 018-834-0172 へ

令和2年度 保健師職能委員

委員長：鹿子沢 真由美
副委員長：池田 栄子
委員：若松 香奈子 田口 貴久子
保坂 房代 加賀谷 純子

※本通信は、全県の保健師のよりよい活動をめざして、情報共有のツールとして発行しています。

